

## 【NEWS RELEASE】

2018年4月24日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社ディンプスの「SMBC働き方改革私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社ディンプス（代表取締役社長：西山 隆志）の発行する「SMBC働き方改革私募債」を買受け致しました。

「SMBC働き方改革私募債」は、私募債買受け時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となりました、株式会社ディンプスに対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、株式会社ディンプスでは、以下のような取組と実績を有しておられます。

働き方改革には「気持ちの改革」と「ツールによる支援」が両輪として必要という認識のもと、柔軟な働き方や生産性向上支援策を展開したことにより、時間外労働が2年連続して減少。

全社員の勤怠や健康の状況を経営会議で把握し、適切な人材配置やリフレッシュ休暇の取得を奨励。有給休暇の取得奨励日を設け、取得率は66%に向上。

子育てと仕事、および介護と仕事との両立支援について、総務部に相談窓口を設置し、従業員からの相談に対して情報提供を行うなどきめ細かく対応。

さらに同社では、今後のさらなる働き方改革に向け、経営トップが、「社員は自らの健康管理に努め、上司は社員の健康に常に配慮するとともに、創意工夫を怠ることなく、開発会社として際立った独自性・先進性を身に着け、当社を「唯一無二の存在」に高めてゆく」と宣言しています。

なお、今回の同社の「SMBC働き方改革私募債」買受けは、ゲームソフトウェア業では初の取組です。三井住友銀行では、「SMBC働き方改革私募債」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。

（ ）“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：淵崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。